

筑豊ブロック少年団体等指導者研修会 兼 福岡県プレイリーダー2級研修会

本研修会は、安全管理や体験活動等についての講話・演習を通して、安全で安心できる環境の中で子どもが主体的に活動できるようなレクリエーションを行うために必要な知識・技能を身に付けた体験活動指導者の育成を図ることを目的として実施しました。管内の子ども会関係者や行政職員等30名の参加者が一緒に学びを深めました。

<講話・演習> 「体験活動の安全管理について」「子どもの体験活動について」

トントン王国 主宰 高宮 隆二 氏

「体験活動の安全管理について」では、子ども達一人一人をよく観察し、それぞれの心と体の状態を考えながら、安全で安心できる環境を整えることの重要性についてご教授いただきました。

まず、指導者の思い込みによる事前準備や指導が、子ども達の事故につながる可能性があるということを教えていただきました。

また、安全で安心できる環境を整える視点として、次の3つを意識することが大切であるということでした。

- ①「場所（危険個所の確認や気象状況の把握）」
- ②「参加者（子ども一人一人の心の状態や体調）」
- ③「スタッフ（配置人数や自身の安全と健康管理）」

この3つの視点で、事前の確認や、活動中の見守りを行うことを大切にすることで、事故を未然に防ぐことができるというものでした。

「子どもの体験活動について」では、子ども達が主体的に活動できる環境を作り出すために大切なことを教えていただきました。

子ども達が主体的に活動するためには、次の2つが重要です。

- ・導入・交流・発展の3段階で構成すること
- ・「1対全員」から「ペア・グループ」へと活動を広げていくこと

導入では、参加者の意欲を向上させる工夫として、次の3つを教えてくださいました。

- ・同時発声・同時動作（合図に合わせて同じタイミングで声を出したり身体を動かしたりすること）
- ・1指示1動作（1つの指示で1つの動作をすること）
- ・レクリエーションの難易度を段階的に上げること

また、レクリエーションをただ行わせることを目的とするのではなく、子ども達に達成感や楽しさを味わわせることが大切であること。そのことを通じて、子ども達の心を耕すことや人間関係を創り直す手助けができればとおっしゃっていたのが印象的でした。



参加者は本研修会を通じて、体験活動指導者としての在り方や体験活動時における安全管理、子ども達が主体的に活動するためのレクリエーションの構成の仕方や内容について学びを深めることができました。

【参加者アンケートから】（抜粋）

- リスクを予測し、事前に対策を講じると、子ども達が安心して活動に集中できる環境を整えることができることが分かった。
- 導入→交流→発展の順にレクリエーションを進めると、子ども達が主体的に活動できると分かった。
- 学んだレクリエーションを生かして、様々な性格の子ども達みんなが楽しめる場をつくっていきたい。